



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社
コード番号 9959 URL <http://www.aseed-net.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺地 寛
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務グループ担当 (氏名) 橋本 義徳

TEL 084-941-3311

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,367	24.9	275	84.5	291	105.1	248	210.7
23年3月期第1四半期	7,501	△6.9	149	△19.7	141	△22.5	80	△37.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 245百万円 (271.8%) 23年3月期第1四半期 65百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	37.41	—
23年3月期第1四半期	12.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	17,647	3,997	22.7	601.24
23年3月期	13,854	3,577	25.8	564.05

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,997百万円 23年3月期 3,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,300	9.3	450	12.5	430	13.4	280	5.0	44.15
通期	31,500	8.3	530	23.1	510	30.0	300	31.9	47.30

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 宝積飲料株式会社、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	6,747,624 株	23年3月期	6,747,624 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	99,343 株	23年3月期	405,743 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	6,653,735 株	23年3月期1Q	6,351,561 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、予想に内在する様々な不確定要因や、事業運営における状況変化等によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、新興国の経済成長を背景に緩やかな回復の兆しが見られたものの、平成23年3月11日発生の東日本大震災による直接的な被害に加え、福島第一原発事故にともなう電力供給不安や風評被害等により、景気の先行きは極めて不透明な状況となりました。

自販機オペレーター（運営リテイル）業界におきましては、自販機のロケーションや設置台数のオーバーストア状態が続くなか、同業者間における取引条件競争に加え、業種業態を超えた価格競争の激化に伴う収益性の低下等により、業界再編が一段と加速化しております。

このような状況のなか、当社グループは引き続き各事業における収益性の向上に取り組むとともに、株式交換により子会社化した宝積飲料株式会社の事業価値向上に注力いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高9,367百万円（前年同期比24.9%増）、営業利益275百万円（同84.5%増）、経常利益291百万円（同105.1%増）、四半期純利益248百万円（同210.7%増）の増収増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より「飲料カードシステム事業」の名称を「飲料サービスシステム事業」に変更するとともに、従来は「自販機運営リテイル事業」に区分しておりました、遊技場等におけるコーヒーサービス(カフェスコ)を「飲料サービスシステム事業」に区分変更いたしました。この変更に伴い、前年同四半期比較にあたっては、前年同四半期を変更後のセグメント区分に組み替えたもので算出しております。

① 自販機運営リテイル事業

福島第一原発の事故を起因とした電力供給不安の広がりにともない、自販機の使用電力に対する問題（本質的にはアウトドアロケーションにおける自販機の過剰設置）がクローズアップされてきており、自販機産業はこれまでの量的拡大から差別化を重視した質的向上への転換が求められております。このような状況のなか、当社グループでは自販機の過剰設置による環境問題の解消と消費者ニーズに即した付加価値の高い商品を提供する「フルライン自販機」を重点的に推進し、他社との差別化を図りました。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は5,512百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は138百万円（同17.5%増）の増収増益となりました。

② 飲料製造事業

宇都宮飲料工場における大型ペットボトル飲料(1.5ℓ及び2.0ℓ容量)設備の稼働に加え、本年4月1日付けにて実施した宝積飲料株式会社の子会社化により、受託製造数量は前年同期比106.7%増と大幅な伸長となりました。また、新たに子会社となった宝積飲料株式会社の志和工場（広島県東広島市）においては、大手飲料メーカーや各ブランドオーナーからの受託製造に加え、ミネラルウォーターをはじめとした各種の自社ブランド製品の製造・販売の強化にグループを挙げて取り組みました。

この結果、飲料製造事業の売上高は3,689百万円（前年同期比102.1%増）、営業利益は186百万円（同204.8%増）の増収増益となりました。

③ 飲料サービスシステム事業（旧飲料カードシステム事業）

パチンコホールのお客様に対して、自販機のソフト化によるサービス価値を高め、カップ飲料自販機の利便性を向上させる「アオンズ・カードシステム」につきましては、店舗の広告宣伝メッセージやイベント告知等を刷り込める新カードの販売強化に取り組みました。また、遊技場等におけるコーヒーサービス(カフェスコ)につきましては、コーヒーの品質(味・香り・鮮度)強化に取り組み、更なるサービスの向上を図りました。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は148百万円（前年同期比13.0%減）、営業利益は14百万円（同41.4%減）となりました。

④ 不動産運用事業

広島県福山市内の賃貸駐車場、賃貸収益ビル、山口県周南市及び広島市西区内の賃貸事務所兼倉庫、佐賀県佐賀市内の貸店舗等の稼働がありましたが、前連結会計年度末までグループ外への賃貸で運用しておりました宇都宮飲料工場の隣接土地及び建物を、当社グループの飲料製造事業における大型ペットボトル飲料設備と製品倉庫に転用したため、これにかかる売上高は減少いたしました。この結果、不動産運用事業による売上高は16百万円（前年同期比42.2%減）、営業利益は22百万円（同14.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、7,876百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,441百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加679百万円、売掛金の増加1,331百万円、商品の増加143百万円、製品の増加154百万円及び原材料の増加112百万円等によるものです。固定資産は、9,771百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1,351百万円増加いたしました。これは主に宝積飲料株式会社の子会社化による建物の増加474百万円、機械装置の増加282百万円、土地の増加355百万円、有形リース固定資産の増加339百万円及び建設仮勘定の減少217百万円等によるものです。

この結果、総資産は、17,647百万円となり、前連結会計年度末に比べ、3,793百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は10,068百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,900百万円増加いたしました。これは主に支払手形の増加109百万円、買掛金の増加1,267百万円、借入金の増加994百万円、未払金の増加198百万円及び未払酒税の減少164百万円等によるものです。固定負債は3,582百万円となり、前連結会計年度末に比べ472百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加71百万円及びリース債務の増加324百万円等によるものです。

この結果、負債合計は、13,650百万円となり、前連結会計年度末に比べ、3,373百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,997百万円となり、前連結会計年度末に比べ420百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益による増加248百万円、株式交換による自己株式の減少に伴う増加188百万円及び剰余金の配当による減少50百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は22.7%（前連結会計年度末は25.8%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年6月17日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、宝積飲料株式会社を子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,023,116	1,702,716
受取手形及び売掛金	1,536,624	2,886,400
商品及び製品	952,373	1,248,131
原材料及び貯蔵品	142,942	253,493
前払費用	1,125,016	1,080,981
繰延税金資産	121,228	126,599
その他	536,672	584,698
貸倒引当金	△2,963	△6,853
流動資産合計	5,435,010	7,876,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	813,693	1,314,980
機械装置及び運搬具(純額)	164,576	447,142
工具、器具及び備品(純額)	15,642	22,975
土地	3,458,478	3,814,183
リース資産(純額)	742,744	1,082,007
建設仮勘定	247,450	30,361
有形固定資産合計	5,442,585	6,711,651
無形固定資産		
のれん	646,662	626,432
リース資産	27,978	36,349
その他	20,379	31,049
無形固定資産合計	695,021	693,831
投資その他の資産		
投資有価証券	438,966	504,319
長期貸付金	35,223	34,634
長期前払費用	1,153,929	1,116,477
繰延税金資産	179,311	162,922
その他	523,351	598,007
貸倒引当金	△48,794	△50,304
投資その他の資産合計	2,281,987	2,366,056
固定資産合計	8,419,594	9,771,540
資産合計	13,854,605	17,647,708

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,345,904	3,722,539
短期借入金	1,780,000	2,475,000
1年内返済予定の長期借入金	959,098	1,258,668
リース債務	319,656	363,251
未払金	982,849	1,222,899
未払法人税等	26,485	46,521
未払消費税等	13,610	62,321
繰延税金負債	290	364
賞与引当金	106,656	53,811
その他	632,882	862,754
流動負債合計	7,167,432	10,068,132
固定負債		
長期借入金	2,166,975	2,238,011
リース債務	518,553	843,325
再評価に係る繰延税金負債	47,569	47,569
退職給付引当金	75,485	121,308
役員退職慰労引当金	124,892	166,480
資産除去債務	2,800	2,800
その他	173,742	162,876
固定負債合計	3,110,018	3,582,370
負債合計	10,277,450	13,650,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	976,192	1,012,778
利益剰余金	2,680,991	2,879,171
自己株式	△251,351	△62,457
株主資本合計	4,204,304	4,627,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△74,293	△78,292
土地再評価差額金	△550,566	△550,566
為替換算調整勘定	△2,290	△1,899
その他の包括利益累計額合計	△627,150	△630,759
純資産合計	3,577,154	3,997,205
負債純資産合計	13,854,605	17,647,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,501,057	9,367,646
売上原価	4,610,925	6,273,135
売上総利益	2,890,131	3,094,511
販売費及び一般管理費	2,740,798	2,819,054
営業利益	149,333	275,456
営業外収益		
受取利息	525	1,461
受取配当金	2,372	3,473
不動産賃貸料	3,645	3,248
受取賃貸料	5,309	5,011
受取保険金	—	18,392
その他	8,928	15,604
営業外収益合計	20,781	47,191
営業外費用		
支払利息	19,426	24,532
その他	8,754	7,067
営業外費用合計	28,181	31,599
経常利益	141,934	291,048
特別利益		
固定資産売却益	14	—
貸倒引当金戻入額	645	—
負ののれん発生益	5,249	21,622
その他	15	84
特別利益合計	5,924	21,707
特別損失		
固定資産除却損	402	—
役員退職慰労金	—	7,000
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,702	—
災害による損失	—	3,387
特別損失合計	7,104	10,387
税金等調整前四半期純利益	140,753	302,368
法人税、住民税及び事業税	41,212	42,648
法人税等調整額	19,431	10,804
法人税等合計	60,644	53,453
少数株主損益調整前四半期純利益	80,108	248,914
四半期純利益	80,108	248,914

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	80,108	248,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,315	△3,999
為替換算調整勘定	188	390
その他の包括利益合計	△14,126	△3,609
四半期包括利益	65,982	245,305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,982	245,305

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,475,876	1,825,807	170,924	28,449	7,501,057	—	7,501,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,020	117,599	646	23,652	168,918	△168,918	—
計	5,502,896	1,943,406	171,570	52,102	7,669,976	△168,918	7,501,057
セグメント利益	117,632	61,335	25,170	26,447	230,586	△81,253	149,333

(注) 1. セグメント利益の調整額△81,253千円には、セグメント間取引消去10,699千円、のれんの償却額△2,507千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△89,446千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,512,933	3,689,529	148,725	16,457	9,367,646	—	9,367,646
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,656	168,001	729	37,711	233,098	△233,098	—
計	5,539,589	3,857,530	149,454	54,169	9,600,745	△233,098	9,367,646
セグメント利益	138,177	186,972	14,759	22,718	362,628	△87,171	275,456

(注) 1. セグメント利益の調整額△87,171千円には、セグメント間取引消去3,470千円、のれんの償却額△2,507千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△88,135千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、従来「自販機運営リテイル事業」に区分していたコーヒーサービス(カフェスコ)については、経営管理単位の見直しを行い、セグメント区分との整合性を図るため、従来の「飲料カードシステム事業」に含めることとし、セグメントの名称を「飲料サービスシステム事業」に変更いたしました。これにより、前第1四半期連結累計期間の「自販機運営リテイル事業」と「飲料サービスシステム事業」の売上高及びセグメント利益は当該変更が前年同四半期に行われたものとして遡及修正しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。